

別添

2009年2月5日

関係機関 御中

株式会社長府製作所

『ガスふろがま』についての無償点検実施のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今般、当社が2001年から2003年にかけて製造、販売した『ガスふろがま』におきまして、ガス電磁弁の閉止遅れが発生する可能性があることが判明しました。

現在、製品事故は発生しておりませんが、安心してご使用いただくため、当該機種は無償点検を実施いたします。情報提供は、プレスリリース及び弊社ホームページで行います。

関連する方々には大変ご迷惑をおかけすることと相成り、深くお詫び申し上げます。

弊社と致しましても、今後このようなことがないよう安全性の向上に尚一層努力をして参る所存でございます。何卒よろしくご理解、ご了承賜りますよう切にお願い申し上げます。

敬白

※【添付参考書類】

プレスリリース文

報道関係各位

ガスふろがまについてのお詫びと無償点検実施の報告

株式会社長府製作所

当社が、2001年から2003年にかけて製造したガスふろがまにおきまして、スイッチを切ったあとのガス電磁弁の閉止遅れにより、しばらく火が残るといった不具合の発生情報が市場から寄せられました。

調査の結果、同様な原因によると推測される故障事例が、2008年以降に15件発生していることが判明しました。これまで、消費生活用製品安全法で定める製品事故に該当するものは、ありませんが、事故を未然に防ぐため、下記対象機種について無償点検・改修を実施いたします。

ご使用のお客さまにご迷惑とお手数をおかけすることを深くお詫び申し上げます。

今後このようなことがないよう安全の向上に尚一層努力を怠りませんので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

記

1. 点検等に至る経緯

2008年4月～5月に市場(九州地方を中心とする西日本)より「GF-200Dにおいて、スイッチを切っても燃焼が停止しない」との不具合情報が数件寄せられたことから、返却されたGF-200Dを調査したところ、ガス電磁弁に約10分間通電した後通電停止しても、しばらく開状態となる電磁弁閉止遅れが確認されました。調査によると、ガス電磁弁の内部のプランジャーとコイル側の吸着接触面に粘着性の異物が付着していました。

この粘着性の異物を更に調査したところ、樹脂が加水分解した際に発生するカルボン酸塩の一種と判明し、この粘着性のカルボン酸塩により、電磁弁の閉止遅れが発生した可能性が判明しました。(別紙参考資料参照)

過去の同様な返却品を調査したところ、程度の差はあるものの15件の同様な故障事例がありました。ガス電磁弁の閉止遅れにより、浴槽のお湯の温度が通常より高くなるなどの状態が考えられます。いずれも製品事故に至ったものではありませんでしたが、お客様に安心して製品をお使いいただくため、自主点検・改修を実施することにしました。

2. 点検修理対象機器

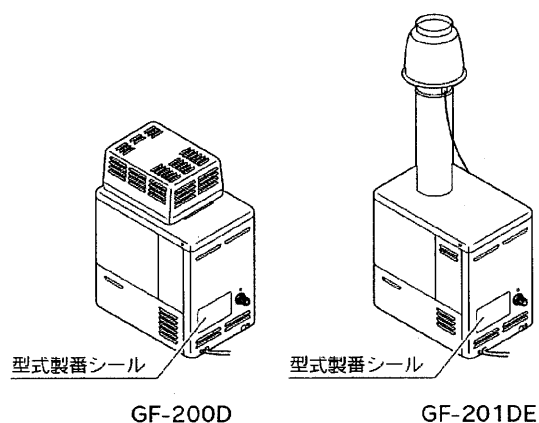
型式	ガス風呂釜			
	GF-200D(LP)	GF-200D(13A)	GF-201DE(LP)	GF-201DE(13A)
製造番号	040142～064540	005617～009390	017147～029121	005131～008146
製造開始	2001(H13)年1月	2001(H13)年1月	2001(H13)年1月	2001(H13)年1月
製造終了	2003(H15)年12月	2003(H15)年12月	2003(H15)年12月	2003(H15)年12月
製造台数	24,399	3,774	11,975	3,016
対象台数	24,399	3,774	11,975	3,016

計 43,164 台

対象製品の確認は型式・ガス種・製造番号を実機の型式製番シールにて確認してください。

【型式製番シールの場所】

GF-200D・201DE の本体正面に型式製番シールがあります。



3. 点検・修理の内容

ガス電磁弁を対策用ガス電磁弁に交換します。

4. お客さまへの対応

弊社ホームページ及び弊社特約店を通じてお客さまにお知らせします。

5. お客さまの連絡先及び問い合わせ先

フリーコール **0120-911-870**

受付日・時間： 平日 9:00～18:00 (2月8日までは土日も受け)

弊社ホームページ： <http://www.chofu.co.jp>

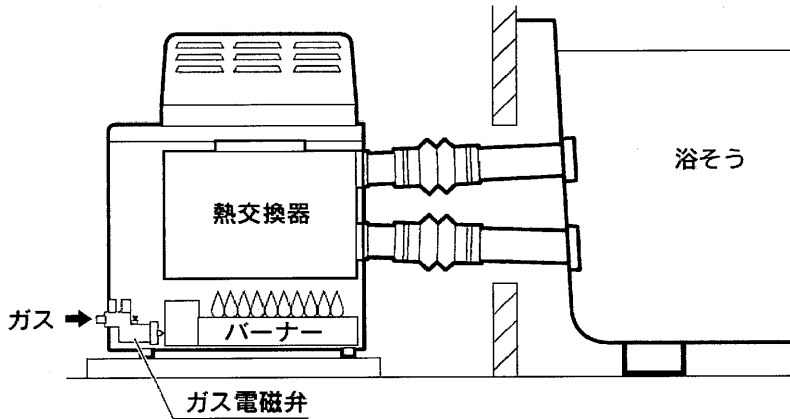
以上

《報道関係様からのお問い合わせ先》

株式会社長府製作所

・本社(業務部)《担当:大枝》 〒752-8555 山口県下関市長府扇町 2-1
TEL083-248-1111(代表)

1. 構造図

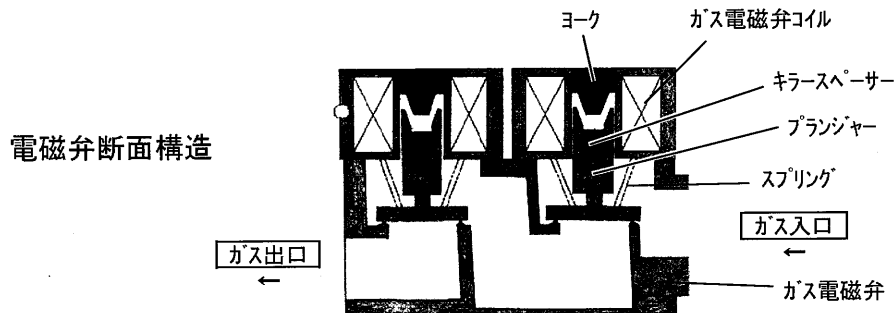


(図はGF-200Dの場合)

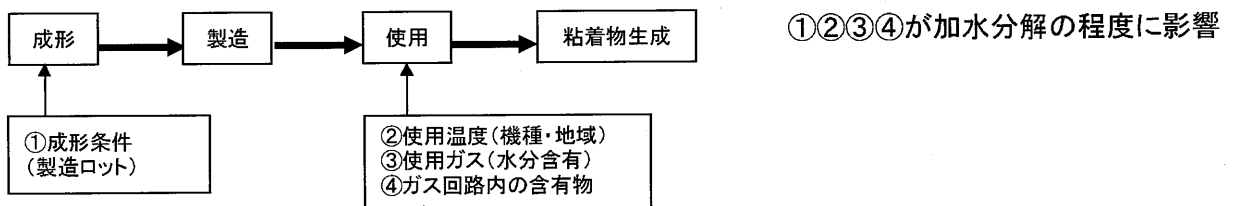
2. 不具合発生の原因説明

ガス電磁弁コイルの、プランジャー内キラスペーサー(素材がポリエステルエラストマー)が温度と水分の影響で、加水分解を起こし、表面に粘着性物質(カルボン酸塩※)が生成する。

その粘着性物質がキラスペーサーとコイル上端のヨークとの間に生成し、スプリングの反発力以上の力で一時的に固着することによって閉弁時電磁弁の閉止遅れとなる。



加水分解の程度は、キラスペーサー製造時の成形条件、使用温度、使用ガス及びガス回路の水分量を含む成分によって左右されます。今回の不具合品は、成形条件の不備が原因で、製造時に、樹脂の変質が進んだ状態の部品を使用したことにより、加水分解が進んだものです。



※カルボン酸塩・カルボキシル基(-COOH)をもつ有機酸であるカルボン酸と金属類との化合物